

International Swaps and Derivatives Association, Inc.  
Shiroyama Hills, 31<sup>st</sup> Floor  
4-3-1 Toranomom  
Minato-ku, Tokyo 105-6031  
Japan  
Telephone: 81 (3) 5733-5500  
Facsimile: 81 (3) 5733-5501  
email: isdajp@isda.org  
website: www.isda.org

平成 16 年 11 月 4 日

企業会計基準委員会 御中

## 実務対応報告公開草案第 14 号「排出量取引の会計処理に関する当 面の取扱い（案）」に対するコメント

I S D A 東京事務所

International Swaps and Derivatives Association, Inc. (I S D A) は、1985年にニューヨークにて設立された店頭デリバティブ市場の主要参加者により構成される全世界的な業界団体です。主として、金利スワップ、通貨スワップ、商品スワップ、さらにクレジット・デリバティブ、天候デリバティブ等の取引を対象とした契約書の発展と維持、取引の効率的締結のための市場慣行の促進、及び健全なリスク管理体制の発展等を目的として活動を続けております。会員数は2004年11月現在、44カ国600社を超え、本邦においても35社が登録されており、その構成者は店頭デリバティブに携わる各国の主要金融機関、事業法人等エンド・ユーザー等となっております。

I S D Aはその活動の一環として、欧州における排出量取引スキーム（E U - E T S）を対象とした標準契約書の作成を国際排出権取引協会（I E T A）と共同で昨年着手し、今年7月に公表をいたしました。また、わが国におきましても、昨年排出量取引に関心の高い金融機関メンバーを中心にワーキンググループを立ち上げ、日本における排出量 O T C 取引市場を創設するための提言書を作成、I S D A のホームページにて公開しております。

今回、貴委員会にて排出量取引の会計処理に関する当面の取り扱い案を公表していただき、公開草案に対するコメントの募集という形でコメントの機会を頂きましたことを大変歓迎いたします。以下では、公開草案の内容につきコメントをさせていただきます。

排出量取引の会計処理に関する当面の取り扱い（案）に対する全体のコメントとしましては、その前提として、京都議定書に伴う排出クレジットを対象として限定しているとともに、個別企業への排出量削減義務やトレーディングの目的での取引は前提から排除されており、現状の排出クレジットの本邦での位置付けおよび取り扱いを正確に反映したものになっていると考え、その内容について違和感はございません。

一方で、京都議定書の発効がほぼ確実となり、EU-E T Sの稼動を間近に控えた今、今後本邦の市場構造が大きく変貌する可能性も考えられるため、本公開草案の前提に関して、以下の通りコメントをさせていただきたいと存じます。

- ◆ 公開草案の1ページ目に「本実務対応報告では、当面必要と考えられる会計処理のみを検討対象としている」として、検討の対象を限定されておりますが、京都議定書で示される時間軸の中で、本公開草案に記される取扱いはあくまで発展途上のものであり、枠組自体に変更があった場合、たとえば、将来的に排出削減義務が課せられるような仕組みができた場合は、会計処理も合わせて変わっていくべきであると考えております。この点については、前提が変更された場合の、再検討の可能性についても公開草案では言及されておりますが、ISDAとしてもその必要性を強く感じており、ここに申し述べさせていただければと存じます。また、今後再検討を行っていかれる具体的な予定、スケジュール感がございましたら、ご教示いただければ幸いです。
- ◆ 2ページ目の「会計処理の考え方」の章に、「現状では活発な取引がなされる市場が整備されているとは言い難い。そのため、時価の変動により利益を得ることを目的としていても金融投資には該当せず、むしろ、企業自らが買い手を見つけ、価格交渉のうえで排出クレジットを引き渡すことによって利益が得られる事業投資に該当するものとして、本実務対応報告では取り扱う」とありますが、世界市場レベルで見れば活発な取引がなされる市場が既に整備されているところもあり、特にEU市場ではCO<sub>2</sub>排出権が金銭的な価値をもって市場取引されることを既に制度化しております。本公開草案では、排出量取引市場を日本国内として限定的に考えておられることと思われませんが、世界市場の動向も睨みつつ今後の検討を進めていただきたいと存じます。

以上、よろしくご検討頂ければ幸いです。